

所信表明

昭和 51 年卒 池田 哲雄

財政基盤を安定

私のこれまで 12 年間校友会会長を務めさせていただいた経験をベースに次世代への橋渡し役と校友会の更なる発展を目指し、5 期目の会長選挙に立候補いたします。2023 年に校友会代議員会で可決していただいた「10 年会費制度」は、長年の課題であった校友会の財政基盤を安定化に向け、私が中心となって実現した取り組みです。27 年 3 月の卒業生から、徴収することが可能になります。高等部約 360 人の卒業生が見込まれ、1 人 45000 円徴収いたしますから、計 1620 万円が入金されます。私はこれを 8 年から 9 年かけて約 9000 万円に及ぶ前受金の制度を設立したいと考えています。

初等部教育の新機軸

制度完成後は毎年 1620 万円の全ての収入をクラブ同好会応援募金などの在校生支援に充てるとともに、新たな教育活動募金として、母校のために最大限活用していきたいと思います。具体案の一つとしましては、初等部の英会話教育や海外ホームステイなどの資金に活用できないものかと、現在学校側と検討を始めたところです。

未来指向の組織構築

さらにクラブ同好会応援募金に加えて、新たな財源の中から運動部と文化部の各部活動の OB 会を束ねることによって支援を行っていく新たな組織を構築することも視野に入れています。将来的には早実運動部と文化部のすべてを俯瞰できるような OB 会の支援体制を構築していくことを目指します。

校友会から講師派遣

そして、母校・早実の「卒業生キャリアデータベース」の中に校友会からも卒業生を登録させていただいて、各界で成功している早実 OB&OG の方々が在学中の経験や社会へ出てから成功するための秘訣はいったい何か？といったテーマを中心に中等部と高等部の授業の中で講義を行っていただくとか、講演会を開いていただく施策も現在学校側と検討中です。

YouTube 展開

講師派遣に付随して、早実出身の各界有名 OB&OG に登場していただく YouTube＝「紺碧の空 早実伝説のヒーロー&ヒロイン」を開設したいと考えております。この収益も在校生支援に充てたいと考えています。

次世代へのバトン

創設 125 周年の節目を迎え、私に新たな校友会会長としての任を与えていただけるのなら、校友会会長としての集大成として新たな世代へバトンを繋いでいこうと決意する次第です。私たちが誇りを持って在校生を支える姿こそ去華就実の校是と三敬主義の校訓をバックボーンとする早実にふさわしい校友会だと思います。